2025年度　自己評価･施設関係者評価報告書

2026年

学校法人双葉学園　認定こども園ふたば文化

1. 双葉学園の教育理念

たくましく大地に根をはれ　ふたばっ子！

たくましく･･･心も体も健康な子を育てます

大地に根をはれ･･･幼児期は人格の基礎づくりの時、根っ子の時代です。発達段階をしっかりと押え、幼児期には幼児期にふさわしい生活「遊び」を大切にします。

ふたば文化は、子ども達の楽園です

子ども達が主人公です。私たちは子ども達のためになることを、追及し続けます。

楽しくなければ子ども園ではない！

楽園であるからには、楽しくなければなりません。ふたば文化に関わるみんなが楽しめる子ども園を目指します。

2. 教育目標

めざす幼児像	めざす教師像
(1) 健康で元気な子 (2) 友達と仲良く遊べる子 (3) よく考えて行動する子 (4) 最後まで頑張る子 (5) 自然に親しみ思いやりのある子	(1) 健康で常に生き生きとして、子どもの為に力を出し切れる教師 (2) 子どもの気持ちを理解し、一人一人の子どもを大切にする教師 (3) 研究心に充ち、常に向上しようと協力する教師 (4) 父母と協力し、教育に情熱を燃やす教師

3. 園内研修（本年度重点的に取り組む）の計画、目標/結果･評価

《テーマ》「歌声あふれる幼稚園」　～集団遊びの充実～　一緒がいいね！仲間だから！！

4 月の始業式で園歌を歌った子どもたちの歌声がよかったことを期に、子どもたちが歌を通して気持ちよく自己表現ができること、みんなが歌を通して仲良くなり、のびのびとした園生活を送ることができるようにこのテーマを選んだ。

【園内研修の計画・目標について】

毎月、月案の時に出していた歌をリストアップし、表を作り各曲の担当を決めて記入した。クラス便りに「今月のうた」を記入したり、クラスの動画で配信したりなど、担当曲を保護者にもアピールできるよう計画した。各学期ごとに計画的に歌っていくとともに、３学期には園児全員がみんなで歌える歌を考え、テーマ通り、歌声があふれる幼稚園になることを目標にした。

１学期は異年齢交流として、年中長児が年少児のクラスに行き、各クラスの担当曲を一緒に歌った。年少児には年中長児の歌声がいい刺激になり、年中長児は自身が付いたように思う。

２学期からは毎月の集会で担当曲を披露した。くじ引きを全員の前で行い、くじに当たったクラスは大喜びでホールの前に立ち、嬉しそうに歌う姿が見られた。担当曲をくじ引きで決めた月もあり、盛り上がる子どもたちの姿が見られた。一方で、担当曲決めの時期が遅く教師の伴奏の練習が間に合わず、月初めから計画的にクラスで歌うことができないクラスもあった。また、担当曲を担任がくじ引きで決

めていたため、子どもたちは上手に歌っていたものの、自信を持って自分のクラスの曲を披露する、という感覚が持てていないようにも感じた。

4. 評価項目の達成及び取り組み状況/評価・結果

評価項目	集計結果	評価
園の方針・教育理念の理解と実践	93.8%	S
職員として	84.7%	A
安全管理	82.7%	A
保護者対応	81.8%	A
地域・園外活動	82.7%	A
保育・園内研修	81.2%	A
研修	78.8%	B
総合	83.6%	A

※各項目に、担任・補助・運転手・給食職員がチェックをし、その割合を集計して、各項目のパーセンテージを計算した。
S…90%以上　A…80%以上
B…60%以上　C…40%以上
D…40パーセント未満　として評価を行った。

【自己評価からの評価・結果】
教育理念は、理事長先生からの話しを聞いたり園だよりを読むことで再確認できて、行事のあり方を考えたり、日々の保育の進め方で悩んだり、保護者との対応で困ったりした時に、理念を思い出して、子どもを第一に考えることができた。ふたばの教育理念があるからぶれずに、子どもたちと接する事が出来た。
2025年度より、誕生児の保護者を誕生会に招待して、誕生会後は親子給食とした。夏祭りも以前のように誰もが参加 OK として、保護者からも好評だった。各クラス月に 2 回の動画配信も継続して行い、子ども達の様子を見られるようにした。インスタグラムもスタートした。園での様子がたくさんの方に伝わるように、これからも努力していきたい。
園外への散歩や公園にも昨年度より出かける機会がふえたが、行事に追われて、季節を感じる機会は少ないので、子どもたちと楽しめるようにしたい。地域との交流では、お願いされたものにこたえる事が多く、園から発信したりお願いする事がほとんどなかったので、積極的に地域との交流もしていきたい。 研修はスキルアップの為に各自探してはいるが例年に比べると、機会は少なくなっているので、研修をうけたら、積極的に声を出し、成果をみんなで共有できるようにしていきたい。

担当曲のピアノは月案などで担任全員で見せ合うようにしたい。その際に歌も歌い、歌詞の意味や子どもたちへのおろし方など意見を出し合う。また、3 学期はクラスの子どもたちで話し合い、クラスの担当の曲を決めると、‘‘自分たちの歌’’の意識が強まるかもしれないと考えた。
また、今年度は異年齢交流とホールでの歌の披露が主な活動となったが、月ごとに歌の活動を進める先生を変え、どのように進めていくかみんなで話し合うと良いという案も出た。
　来年度は、今年度の反省を生かし、引き続き同じテーマで園を盛り上げていきたい。まずは教師間での意見交換や研修、練習を着実に行うための計画を立てる。毎月計画的に歌をおろし、歌いこみ、子どもたちが堂々と自信を持って歌う姿が見られるように努める。3学期にはそれぞれのクラスが生き生きと自分のクラスの歌を披露する姿が見られるようにしたい。

父母の会からの評価

2025年度施設関係者評価

2025年度父母の会会長、副会長より、日々の園生活を見ての施設関係者評価をいただきました。

◎2025年度　父母の会会長

当時2歳だった息子と、ちびっこランドに通うようになり、ピンクバッチ（満3歳児）で入園し4年間ふたば文化幼稚園でお世話になりました。園長先生をはじめ、全ての先生方が子どもたちに優しく寄り添い、深い愛情を持って全力で保育に取り組んでくださいました。

「楽しくなければこども園ではない」毎日の遊びの中でこれからたくましく生きるための根っこの部分を育てていく「大地に根をはれふたばっ子」の教育理念通り、ふたば文化はまさに子どもたちの楽園で毎日楽しく通うことができました。園庭や目の前の公園では子どもたちが季節を感じながら自由にのびのびと楽しく遊び、親子での行事、夏祭り、運動会、発表会と様々なイベントで成長を感じ、親子揃って本当に楽しい時間を過ごしました。

クラスでは年長、年中が混合の縦割り保育を取り入れていて、年中の時は「早く緑バッチになりたい！」と運動会のソーラン節を真似したり、歌を真似したり、かっこよくて優しい、お兄さん、お姉さんに憧れて育っていきます。年長になると、お泊り保育やつくば登山、リレーや合奏、こま大会など、年長ならではの行事に意欲的に参加し、お手本を見せるような成長を見せてくれます。他にも異年齢交流があり、兄弟のいない我が子にとってはとても良い環境だったと思います。

4年間バス通園でしたが、送迎バス内では運転手さんと添乗の先生がダブルチェックを行うなど安全への配慮が徹底されており、先生方の温かい対応のおかげで、毎朝安心して送り出すことができました。

園内で調理されている愛情たっぷり栄養満点の美味しい給食はふたばっこのパワーの源です。卒園してからも「ふたばの給食は美味しかったな～」と言うくらいです。

ふたば文化幼稚園で心身ともに豊かにたくましく成長させていただきました。人生の土台となる大切な幼児期にふたば文化幼稚園で過ごせたこと、先生方、お友だちと出会えたことは大きな宝物です。ふたば文化を選んで本当に良かったと心から思います。4年間ありがとうございました。

◎2025年度　父母の会副会長

二人の子どもが長い間大変お世話になりました。まだ幼い満三歳児だった子どもたちが、今ではたくましく成長した姿を見ると、ふたば幼稚園で過ごした日々の大きさを実感します。

安心して園に預けることができたのは、施設関係者の皆さまが見えないところで園の安全と環境を守り続けてくださったおかげです。

園舎や園庭がいつも清潔に整えられ、安心して過ごせる環境が当たり前のように保たれていたことに、日々の丁寧なご尽力を感じておりました。

また、先生方が保護者の顔を覚えてくださり、いつ園を訪れても子どもの様子を温かく伝えてくださったことが、とても心強く大きな安心につながっていました。

お餅つきやコマ回し、ふたばっこ祭り、筑波山登山、お泊まり保育など、四季を感じながら多くの貴重な経験をさせていただきました。保育参加では親も一緒に関わることができ、子どもたちの成長を間近

で感じられたことは、私たち保護者にとっても大切な思い出となっています。
　「大地に根をはれふたばっこ」の言葉のとおり、子どもたちは温かく安全な環境の中でしっかりと根を張り心も体も大きく成長することができました。そして、ふたば幼稚園は子どもたちにとってまさに楽園のような場所でした。
　その成長の土台を支えてくださったことに、保護者として心より感謝申し上げます。
皆さまのますますのご活躍と、ふたば幼稚園のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

たのしい幼稚園の運営の為に、私たち職員は今後も日々子どもたちの立場に立って、よりよい環境となるように努力していきます。

認定こども園ふたば文化　　園長　小倉みどり